

豊島西
公民分館だより

第105号
〈発行〉
豊島西公民分館
広報部
発行部数 2,200部

地域の皆さまには、平素より公民分館活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

令和5年は流行しておりました新型コロナウイルスの影響も限定的となり、例年事業に加え、予定していた分館創立50周年記念事業を含めて全ての事業を実施することが出来ました。これは地域や関係者の皆さまのご理解とご協力なしでは実施出来なかったことで、役員一同心から感謝しております。

3月で現役員の任期が満了しますが、2年間皆さまには大変お世話になりました。

私の力不足とコロナの影響で地域の皆さまには満足いかない点多々あったかと思いますがご容赦願います。

今後とも、分館活動に対しまして引き続き皆様のご理解とご協力、ご参加をお願いいたしましてご挨拶とさせていただきます。



分館長 木田 公彦

役員のお別れのコメント

特に印象に残っているのは今年度の体育祭です。前日午後から雨が降ったため、ブルーシートを敷いたりスポンジで雨水を吸い取ったりして、実行・地区委員の皆様にご協力いただき、何とか運動場で行うことが出来ました。元気で明るい分館役員の皆様と一緒に楽しく分館活動を行うことが出来ました。4年間ありがとうございました。



<実行委員長 田中 良幸>

令和2年度から2期4年務めさせていただきました。開始と同時にコロナで分館活動が制限されましたが、最後の1年は少し形をかえながらではありましたが無事行事を終え、安堵しております。何もお役に立てませんでしたが良い経験ができ、ありがとうございました。

<副分館長 大川 博>



役をお引き受けしてからおよそ4年。いまだに初心者コースをウロウロな私。カラフルな性格と経験を持ち合わせた役員の方々、地域の皆様にお助けいただき、なんとか走り切らせてもらった4年間でした。謹んで感謝申し上げます。

<副分館長 古川 伸武>



自治会のお役をお請けしたにもかかわらず、結局何も出来ず、申し訳ない思いでいっぱいです。気持ちはあるのですが、社業と既にお請けしている会で体が追いつかずでした。地域の皆様に貢献したという気持ちだけは変わらずあります。これからもよろしく願います。

<副分館長 小村 公成>



秋の分館講座

9月27日(水) 利倉センターにて

講座名 「ジェルキャンドルホルダー」

内容 専用ケースに入れたドライフラワーの花や実が、蠟(ロウ)を流し入れることでクリアに見え、火を灯さずインテリアとして楽しむ作品を制作します。

講師 河原 菜梨奈 先生



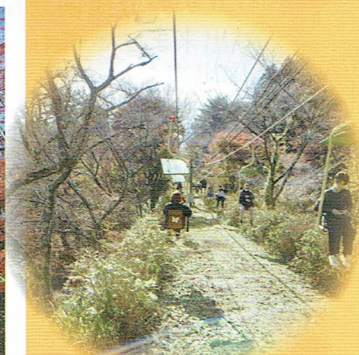
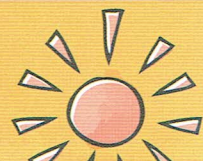
参加者の皆さんは、楽しそうにお花を入れながら、先生のアドバイスを聞き「あーかな、こうかな」と色々とお話ししながら和気あいあいとした雰囲気の中、作品に取り組んでおられました。

教養部長 成竹 由香

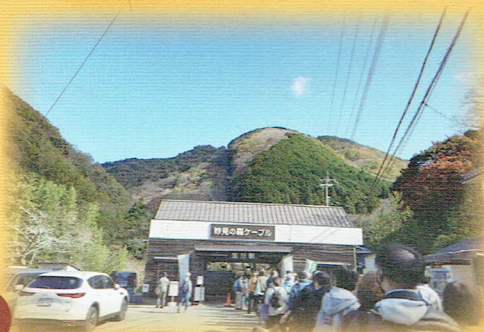
ハイキング

能勢「妙見山」

令和5年(2023年)11月19日(日)

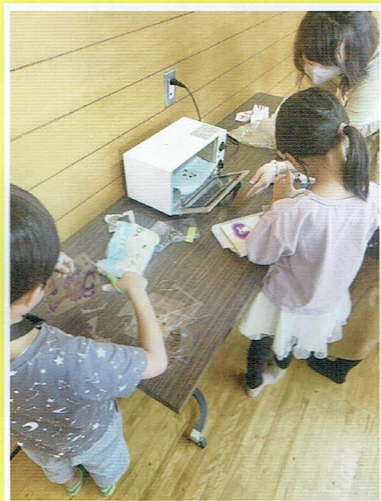


妙見の森のケーブル・リフトが2023年12月3日をもって終了し、63年間の幕を下ろしました。最後に乗れる間にと妙見山を訪れました。



令和5年
10月10日(火)&26日(木)
プラ板キーホルダーづくりをしました。

てにし 子ども教室

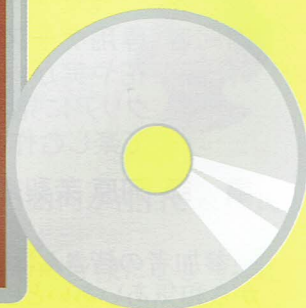


人権学習講座

令和6年
1月25日(木)
上津島センターにて

DVD鑑賞

- ①自分ごとSDGs
- ②あなたの笑顔がくれたもの
～周りから見えにくい障害・
生きづらさ～



豊島西地区 市民体育祭

第48回

10月15日(日)午前9時~12時
豊島西小学校運動場にて

爽やかな秋晴れの中、豊島西地区市民体育祭が開催されました。

数年前までは地区対抗で実施していましたが、選手選考の際における昨今の自治会離れなども考慮し、競技への参加は当日申込制で各競技を個人戦で行いました。順位別に賞品があり、大人も子どもも選手の方々の頑張りは凄かったです。試験的な試みでしたが486名の参加がありました。

今年度は創立50周年ということもあり、閉会後に「創立50周年記念じゃんけん大会」を行いました。大勢が参加される中、木田分館長相手に勝ち続けて、豪華賞品を手にした10名の方々おめでとうございます。



準備体操



紅白玉入れ



タルころがし



幼児かけっこ



ザル玉競走



輪投げ



障害物競走



くつ飛ばし



ウルトラOXクイズ



小学生の綱引き



ケツ圧競走



賞品



一般の綱引き



創立50周年記念じゃんけん大会

役員のお別れのコメント

今号では任期満了を迎える役員の方々に、お別れのコメントを載せたいと100文字程度で依頼したところ、皆さん快く寄稿していただきました。皆さんの思いをお伝えします。

コロナ禍の3年間でも主事として色々仕事がありましたが、今年度は分館行事再開、更には50周年ということもあり、私的にはとても大変でした。しかし、その一方でとても充実した年になり、いい思い出になりました。

<主事 中川 明美>



今期も地域の皆さまの温かさに触れ、楽しみながら活動させていただきました。ご協力いただきありがとうございました。

<主事補 堀 智恵>

分館の仕事を初めてさせていただきました。コロナ明けもあり、試行錯誤の行事でしたが、チームワークのよさで何とか乗り越えられたかな?と思っています。ありがとうございました。

<主事補 吉田 雅子>



4年間の間にコロナもあり、分館役員として、わからないことばかりで、経験ある役員の方々のうしろからついて行くことがほとんどでした。地域の方々には、暖かい声をかけていただき、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

<書記 小田原 清美>

公民分館の役員のお話をいただいて、引き受けたものの鈍い行動力と失敗で何度も落ち込んだり、無力さを感じたりの日々でしたが、他の役員さん方に助けられなんとか任期を終えることが出来ました。皆さまありがとうございました。

<会計 中川 美代子>



2年間至らない面も多くあったと思いますが、教養部長として分館講座を開催することができ、50周年の学習発表会でもハーバリウムを展示することができました。これもみなさまのご協力あってこそです。

本当にありがとうございました。

<教養部長 成竹 由香>

皆様のご協力をいただき、後期高齢者の私が体育部長を無事終えることができました。大変楽しい2年間でした。ありがとうございました。

<体育部長 坂本 正>



コロナ禍の中での分館に携わり思うように婦人部の仕事ができずに過ごす4年間でしたが、50周年という大きな節目に参加できとても感謝です。また、役員の方々、地域の皆様との交流もでき、いい思い出となりました。ありがとうございました。

<婦人部長 田口 倫子>

コロナ禍を経験し、当たり前の概念が変わりました。地域の行事のあり方も、人との交流も、学びの連続でした。また、分館50周年の佳節に役員として携われたことも有意義な時間でした。行事を重ねる毎に深まる役員同士の結束も、その達成感を何倍にもしてくれました。分館行事にご協力いただく地域の方々のお陰で、無事に任を終えるに当たり、心より感謝申し上げます。

<会計監査 松本 順子>



記念の年を含める私の任期は"瞬き"のようで、諸役員方の導きなしには不可能な歩みでした。万事に疎い私め、「活動のための活動ではあってはならない」と念じてきましたが、なんのことはない人生訓であったのか。

<会計監査 大石 一雄>

今年度は創立50周年という大きな節目にあたり、創立50周年記念誌の編集作業に追われていましたが、多くの皆さま方のご協力を得て、広報部長として分館活動が出来ましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

<広報部長 若柳 玉貴>



編集後記

2023年の世相を表す「今年の漢字」に「税」が決まりました。生活に直結する増税・減税の動向が注目され国民の不安や期待が錯綜したということらしいです。物価高騰に戸惑う今日この頃です。

さて、今期最終号の「分館だより」105号をお届けします。原稿や取材にご協力いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

広報部一同